

目に映る風景の向こうで何かが壊れ



世界の終わりと
世界の始まり

雑貨店

原作:嶽本野ばら(小学館刊『ミシン』より)

濱田樹石 第一回監督作品

西島秀俊/高橋マリ子/真行寺君枝/益富信孝 川合千春 内田滋啓
加藤夏希・菊池亜衣 小泉絵美子・派谷恵美・清水ゆみ 太田 瞳 長澤 瞳 悠 美
金 守 珍 / 絵 沢 萌 子 / 森 崎 東 浦 田 賢 一 / 松 尾 スズキ / 名 古 屋 章 / 今 福 将 雄

製作:宮島秀司 山下暉人 プロデューサー:田沢連二 矢島 孝 協力プロデューサー:菅原朝也 脚本:濱田樹石 鷺見剛一 撮影:大橋 仁
美術:太田喜久男 音楽:滝沢淑行 録音:鈴木 肇 助監督:桜井宏明 編集:石島一秀 宣伝協力:ゴージャス

製作:松竹株式会社 株式会社小学館 配給:松竹株式会社

http://www.shochiku.co.jp/cinema/world_end



カラー35mm/スタンダード/上映時間94分

生きていく傷みの透明な破片



乙女のカリスマ嶽本野ばらの衝撃作『ミシン』に収録 「世界の終わりという名の雑貨店」の映画化。

「学校、友達、いつものおしゃべり、どんな言葉も私には届かない」

自分をとりまく全てのものに、違和感をおぼえている高校生の胡摩。

学校でも、家庭でも孤立した存在になってしまうけれど、自分ではどうすることもできずに、ただ自分自身に語りかけるだけでした。

「世界の終わりという名の雑貨店。そこだけが私の場所だった。」

ふと入った古びた雑貨店。

自分を表現することができる手段=お気に入りの洋服を身につけることを知った胡摩は、洋服で武装して幾度となく雑貨店を訪れます。…まるで、太陽から逃げるように、夢のなかに戻っていくように。そこで、ひとりの青年と出会いました。

「…雪が降っています。」

ただそれだけを伝えるために町を駆けていく胡摩。

この気持ちを伝えなくては、やっと探しあてた「同じ想い」を持つあの人に…という思いでいっぱいでした。

これは、胡摩にとって精一杯の、そして初めて自分以外の人に向けた、ここからの告白でした。

「こんにちは」

そして、……。

【ストーリー】

現実と上手く折り合いをつけられない情報誌ライターの高高（ゆたか）が、世界の猥雑さから逃れるように、蠟燭灯りを並べてはじめた雑貨店。或る日、ファッション雑誌から抜け出してきたような少女胡摩（こま）がおずおずと入ってくる。彼女は、自分を取り巻く家や家族や友達との埋めようもない距離に気付き、傷ついていた。でもお気に入りの服を着ると、なんだか勇気みたいなものが湧いてくる。やがて雄高と胡摩にとって、この店は世界で唯一の居場所に。

雄高は思う。僕達は同じ…。

高橋マリ子、鮮烈な映画デビュー作

主演は多数の話題作で確実な演技を見せる西島秀俊、ヒロインには映画初出演「キリン午後の紅茶」のCFでヘプバーンとの共演が話題の高橋マリ子。女子高生役には加藤夏希、菊池亜衣、小泉絵美子、派谷恵美とフレッシュなキャストが勢ぞろい。そして撮影は気鋭の新進写真家、大橋仁。監督は新たなリアリティ感覚が冴える濱田樹石と、今最も注目のエッジが集結。



2002年 2月9日(土)ロードショー

高橋マリ子サイン入りポストカード初日先着プレゼント(限定数)

連日 11:00/12:50/2:40/4:30/6:20

ホワイティ泉の広場上る東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
06(6361)0088

www.oms.gr.jp